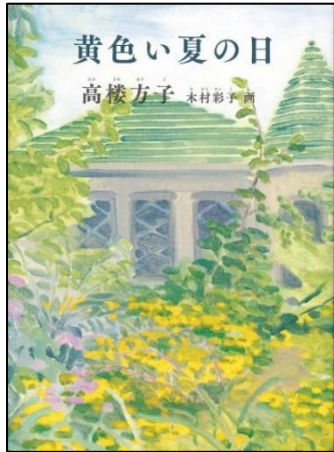


# 黄色い夏の日

91 夕

たかどのほうこ さいこ  
高樓方子[著] 木村彩子[画] 福音館書店



7月半ばの日曜日。中1の景介は美術部の課題で建物を描くことになり、前から気になっていた古めかしい洋館を訪れます。思いがけずその洋館に住む老婦人の手伝いを夏休みにすることになった景介は、ゆりあという名の少女と出会い心ひかれるのですが、会いたいときにいつでも会えるわけではありませんでした。ゆりあに出会えるときはいつも懐かしくて甘い、不思議な匂いがしてくるのです。

景介が経験したひと夏の不思議な物語。

# シリアからきたバレリーナ

93 フ

おざきあいこ ひらさわともこ かいせいしゃ  
キャサリン・ブルートン[作] 尾崎愛子[訳] 平澤朋子[絵] 偕成社



シリアの内戦から逃れてイギリスにやってきた11歳の少女アーヤ。今は病気の母と小さな弟と一緒に難民と認められてることを待っている。あるとき毎日通う難民支援センターの2階にバレエ教室があることに気がつく。アーヤはシリアでバレエをやっていたのだ。教室をのぞいたアーヤは、先生の親切によりレッスンを受けられることになり、やがて自分を取り戻していく。アーヤのつらい体験を交えながら進む物語は、今も世界のどこかで起きていることかもしれません。

# 警察のウラガワ(大人も知らないお仕事のヒミツ) 30

くらしなたかやす  
倉科孝靖[監修] 学研プラス

知っているようで知らない警察のお仕事。

警察官は傘をさしてはいけない？ 超高級なパトカーって？ 警察官になるにはどうしたらいいのかな？

警察の色々な“ウラガワ”を見よう。

シリーズに「病院のウラガワ」もあります。

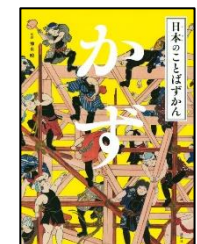


# 日本のことばずかん(全3冊) 80

かみながさとる  
神永暁[監修] 講談社

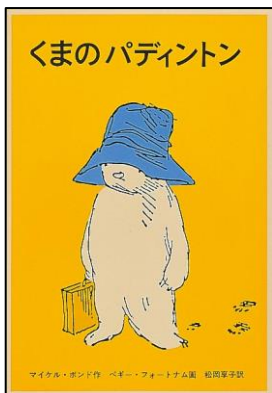
古くから伝わる美しい日本語や、私たちの生活の中にある日本語を「そら」「いろ」「かず」をテーマに集めた本。美しい絵や写真とともに紹介しています。

例えば「赤」でも「くれない」「あかね色」「しゅ色」のように微妙に違う色合いを日本語は表現しているのです。初めて出会う言葉はあるかな？



## くまのパディントン 93ホ

マイケル・ボンド[作] 松岡享子<sup>きょうこ</sup>[訳] ペギー・フォートナム[画]  
福音館書店



南米のペルーからイギリスのロンドンにやってきたくまのパディントン。駅のホームで出会ったブラウンさん一家と暮らすことになりました。パディントンの周りではいつも何かが起こって大騒ぎ<sup>さわぎ</sup>。でもブラウンさんたちや町の人たちはパディントンのことが大好きです。

映画やキャラクターとして有名ですが、ぜひ原作も読んでみてね。シリーズもあるよ。



### 夏休みは図書館においでよ!

#### おはなし会

\_\_\_\_\_はコワイおはなし会です

- |   |                       |           |
|---|-----------------------|-----------|
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">中央</span>  | 7/23(土)、8/13(土)、27(土) | 午後 3:30~  |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">桜が丘</span> | 7/20(水)、8/3(水)、17(水)  | 午後 3:30~  |
|   | 8/20(土)               | 午前 10:30~ |
| <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">清原</span>  | 7/27(水)、8/10(水)、24(水) | 午後 3:30~  |

#### 絵本で学ぼう! SDGs!

ーブックトーク  
中央 7/29(金)  
午前10:30~  
\*30人まで

#### 夏休み子ども会

「作って遊ぼう キュービックパズル」  
桜が丘 8/7(日) 午後 2:00~  
清原 8/21(日) 午後 2:00~  
\*各回10人まで

中央 564-2454 \* 桜が丘 567-2231 \* 清原 564-2944

# この本読んでみない?

## 2022年・夏のおすすめ本

### 5・6年生

### 東大和市立図書館



## かがやき子ども病院トレジャーハンター 91マ

まはら三桃<sup>みつ</sup>[著] しまぎジョゼ[絵] 講談社

病気のため、長期間入院する子どもたちが学ぶ「院内学級」。そこに通う一健<sup>いっけん</sup>、昴<sup>すばる</sup>、卓弓<sup>さくみ</sup>、白彩<sup>ひいろ</sup>たちは、良志<sup>りょうじ</sup>が作って語る“氷の王女”の物語にひきこまれるが、良志が疲れてしまったため、最後まで聞くことができなかった。結末はノートに書いてあるはずだが、どこかに隠<sup>かく</sup>されているらしい。一健たちは結末が書かれたお宝<sup>たから</sup>のノートを探<sup>さが</sup>すため、大人にはないしよで宝探しをする計画をたてる。

